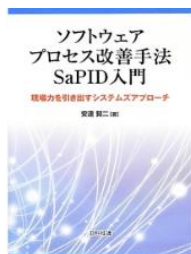


ビズリーチさん 会場のご提供ありがとうございました！

SaPID勉強会

SaPID = Systems analysis / Systems approach based Process Improvement methoD



スライド左下の頁数記載は
書籍「ソフトウェアプロセス改善手法SaPID入門」
の掲載頁です

HBA 共創推進Group 安達 賢二

adachi@hba.co.jp

<https://www.software-quasol.com/>



注)“SaPID”は株式会社HBAの日本における登録商標です。
本書中ではTMおよび®明記はしていません。

はじめに

- 当勉強会の模様は、写真等でWeb掲載（一般公開）する予定です。もし顔が写ると困るなどありましたら**終了前まで**にお知らせください。
- もしよければ当勉強会中、あるいは終了後にSNSで勉強会の状況や感想を情報発信してください。

Twitterタグは **“#SaPID0301”** とします。

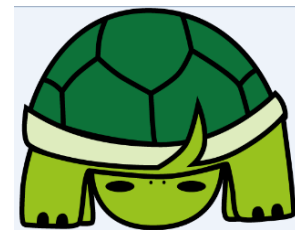
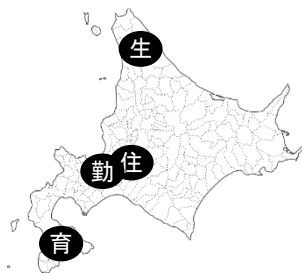
終了時にアンケートがございます

- 本日の勉強会終了時に簡単なアンケートにお答えください。
- quality-sol@hba.co.jp 宛てにお送りください。

安達 賢二（あだち けんじ） adachi@hba.co.jp

株式会社HBA 経営管理本部 共創推進グループ

<http://www.software-quasol.com/>



ものごとの見かたを変える

【経歴】

1987年北海道ビジネスオートメーション（現HBA）入社
システム保守・運用・開発業務、プロジェクトマネージャなどを経験後、部門品質保証担当、システム監査委員、全社品質保証担当、全社品質・セキュリティ・環境管理統括責任者、全社生産革新活動SLIM（スリム）技術統括コーディネータなどを担当。
2012年社内イントレプレナー第一号事業者として品質向上支援事業を立ち上げ。
現在、自律運営チーム構築・変革メソッドSaPIDをベースに、関係者と一緒に価値あるコトを創る共創ファシリテータとして活動中。

【社外活動】

NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）理事（JaSST担当）
JSTQB（テスト技術者資格認定）技術委員
JaSST（ソフトウェアテストシンポジウム）北海道実行委員
SEA（ソフトウェア技術者協会）幹事・北海道支部メンバー
SS（ソフトウェア・シンポジウム）プログラム委員
第33-34期SQiP研究会レビュー分科会アドバイザー
SQuBOK_Ver3プロセス改善研究Grリーダー（プロセス改善の黒歴史研究）
TEF（Test Engineer's Forum）北海道テスト勉強会（TEF道）お世話係
IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）連携委員
テストプロセス改善研究会幽霊メンバー など



きたのしろくま
@kitanosirokuma

小楠 聡美 （おぐす さとみ） ogusuxs@hba.co.jp

【所属】

株式会社HBA 経営管理本部 共創推進グループ所属

【経歴】

これまでシステム設計、開発と品質保証業務に従事しており、2017年4月にHBAに入社。同時に社外活動として、さまざまなシステムの品質保証活動に携わってきた。現在は、共創推進の活動の勉強をしつつ、コンテンツ作成中。

【社外活動】

NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）

<http://aster.or.jp/>

ASTER主催テスト設計コンテスト地域審査委員 <http://aster.or.jp/business/contest.html>

JSTQB（テスト技術者資格認定）技術委員

<http://jstqb.jp/>

JaSST（ソフトウェアテストシンポジウム）北海道実行委員

<http://www.jasst.jp/>

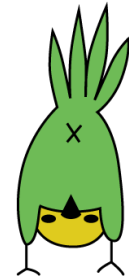
TEF（Test Engineer's Forum）北海道テスト勉強会所属

<http://ameblo.jp/tef-do/>

（通称：TEF道）



TEF道で、外部向けの勉強会やることもありますよ！



ものごとの見かたを変える

SaPIDって何？

マハトマ・ガンジー

・あなたがこの世で見たいと願う変化に、あなた自身がなりなさい。

みなさんはこんな状態ではないですか？

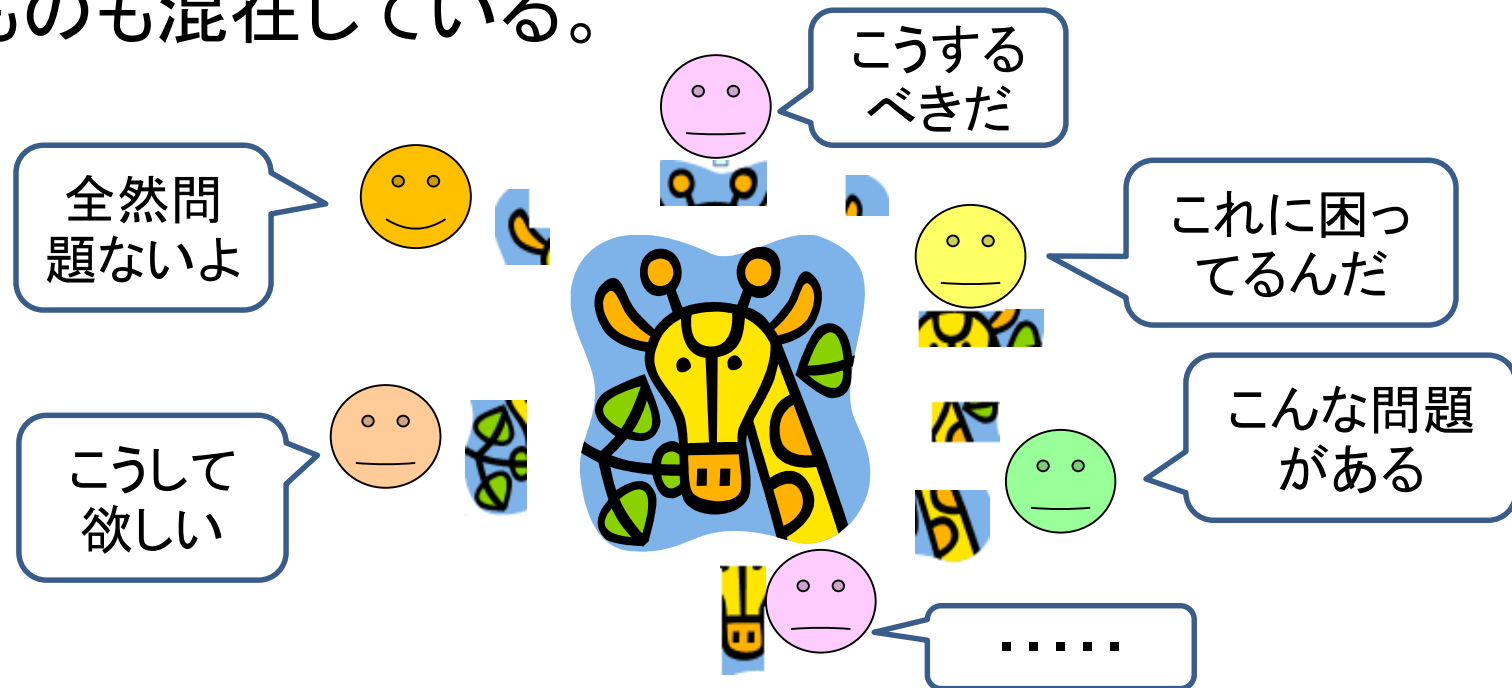
- 組織には計画したタスク、割り当てられた役割をこなす以外に使える工数の余裕はほとんどない。
- 実務は問題だらけ。すべてを一網打尽にはできない。

そして組織や人間活動はこんな感じです

- 関係者はそれぞれの立ち位置で見えている問題を、自ら見えているものを見たい(歪んだ)見方、で捉えている→関係者それぞれが重視することや思いは違っている可能性が高く、自らが思う問題、相手が感じている問題を理解し、方向性を一致させるのは難しい。
- 誰かに命令されたコトは後ろ向きに、自分で決めたことは前向きに実施する可能性が高い。
- 人間は感情の動物、慣習を好む＝変化を避ける傾向がある。論理より感情が勝る。
- 自分が理解できていない、納得していないことにチカラを注ぐ人はいない。
- 過去と他人は変えられないのに、そのための努力を継続している人が非常に多い。
- 撃ち落せる問題領域の幅や奥行きは、担当者～組織が持つ能力に依存する。
- 前向きな人もいるけど、単に楽をしてその場を凌ぎたい人は意外に多い。

組織・チーム運営：関係者の認識

組織内のそれぞれの要員が、自分の見ている範疇で現状を認識している。しかもそこには問題・事実ではないものも混在している。



各自はそれぞれの立場で、自分が見た、聞いた、感じたことを元に自分の認識を持っている(事実の断片、事実以外のものも混在) → 認識が合わない → 思うように解決・改善が進まない

モノゴトの取り込み～反応まで

SaPIDではここに
誰もが認める
関係者がみな
幸せになる
価値観をぶつける

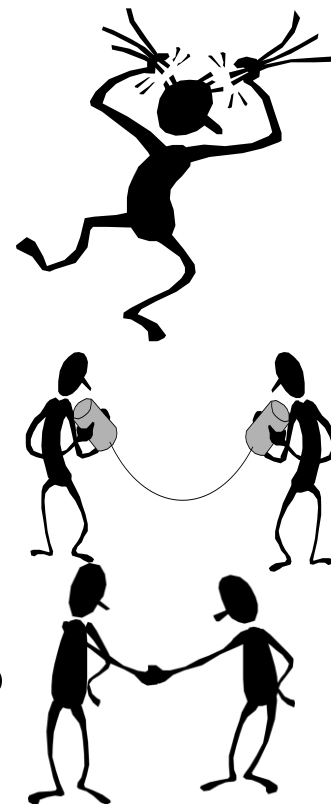
ヴァージニア・サティア (Virginia Satir) の交流モデル(*2)



個人の性質・
価値観・認識



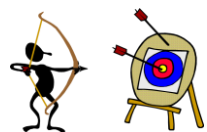
刺激と反応の間に選択の自由を持っている
ビクター・フランクル(心理学者)



*2:参考 ソフトウェア文化を創る2「ワインバーグのシステム洞察法」 共立出版 G.M.Weinberg

改善を進める、成長を目指す上で大事なこと

- 多くの問題、困り事から、取り組む価値のある改善ターゲットを特定する
 - 使えるリソースは非常に限られている！⇒一網打尽はムリ
 - 複数の要素が相互に作用して問題や困り事が発生している
 - 問題、困り事発生メカニズムから取り組むべき改善ターゲットを特定する
- 関係者全員が状況を理解・納得し、当事者(自分事)として取り組む
 - 納得していないことに労力を注ぐ人はいない
 - 当事者として関わらなければ成功の実感も得られない
 - 他者責任追及はあとで／自分たちの役割の範疇で改善すべきことを優先にする
- 改善ターゲットが大きければ、価値ある小さい領域に絞り込む
 - たくさんのことを、長い期間で改善する方法は結局うまくいかなくなる
 - 小さい領域をできるだけ短い期間、少ない工数でちゃんと打ち落とす
- 実践可能で、効果・効率を兼ね備えた手段でターゲットを撃ち落とす
 - 現状能力レベルの110～120%程度のストレッチ目標がベター
 - できなかったことができるようになる、自ら狙って撃ち落せたら“うれしい”
- 小さな成功を積み重ね、改善力と成果を雪だるま式に高める
 - 100m全力走の連続実施や20km全力走は困難
 - 継続できるレベルのFun Runを継続しながらレベルを上げていくのが理想



SaPID(サピッド)

Systems analysis / Systems approach based Process Improvement methoD

(**業界・職種を問わない**)組織やチーム、管理者やエンジニア(または実務担当者)が期待する成果を得る、そして成長するために、当事者自らが**システムズアプローチ**を実践しながら段階的にゴールを目指すプロセス改善手法。

※システム化検討(現状分析～企画立案)時や、さまざまな業種の改善にも適用可能な手法

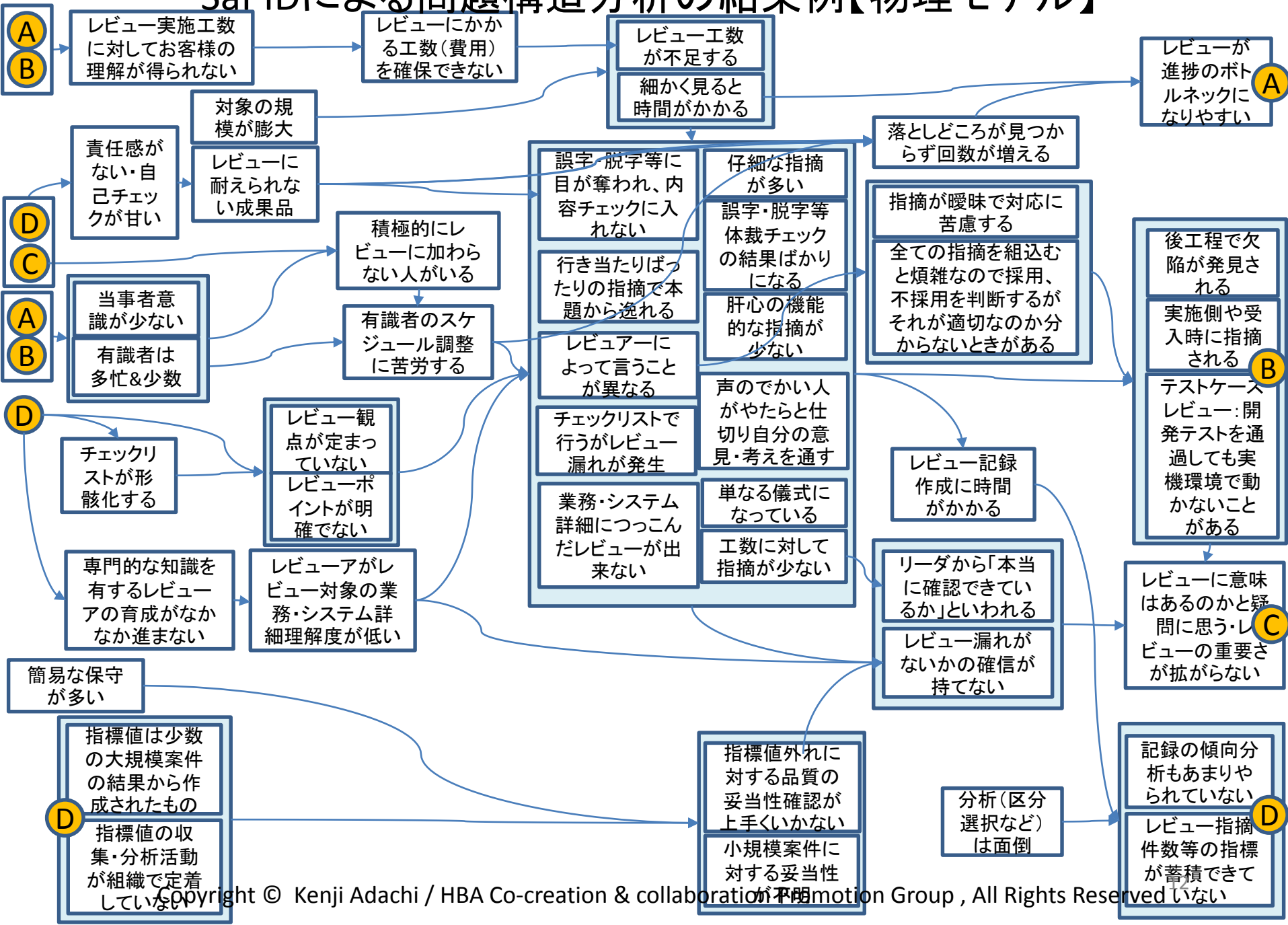
システムズアプローチ

対象領域に存在するさまざまな要素の関係性、相互作用全体を一つのシステムと捉え、システム的な思考と各種手法を駆使しながら分析・評価・最適化などの段階(フェーズ)を経て複雑な問題の解決を探る方法論。

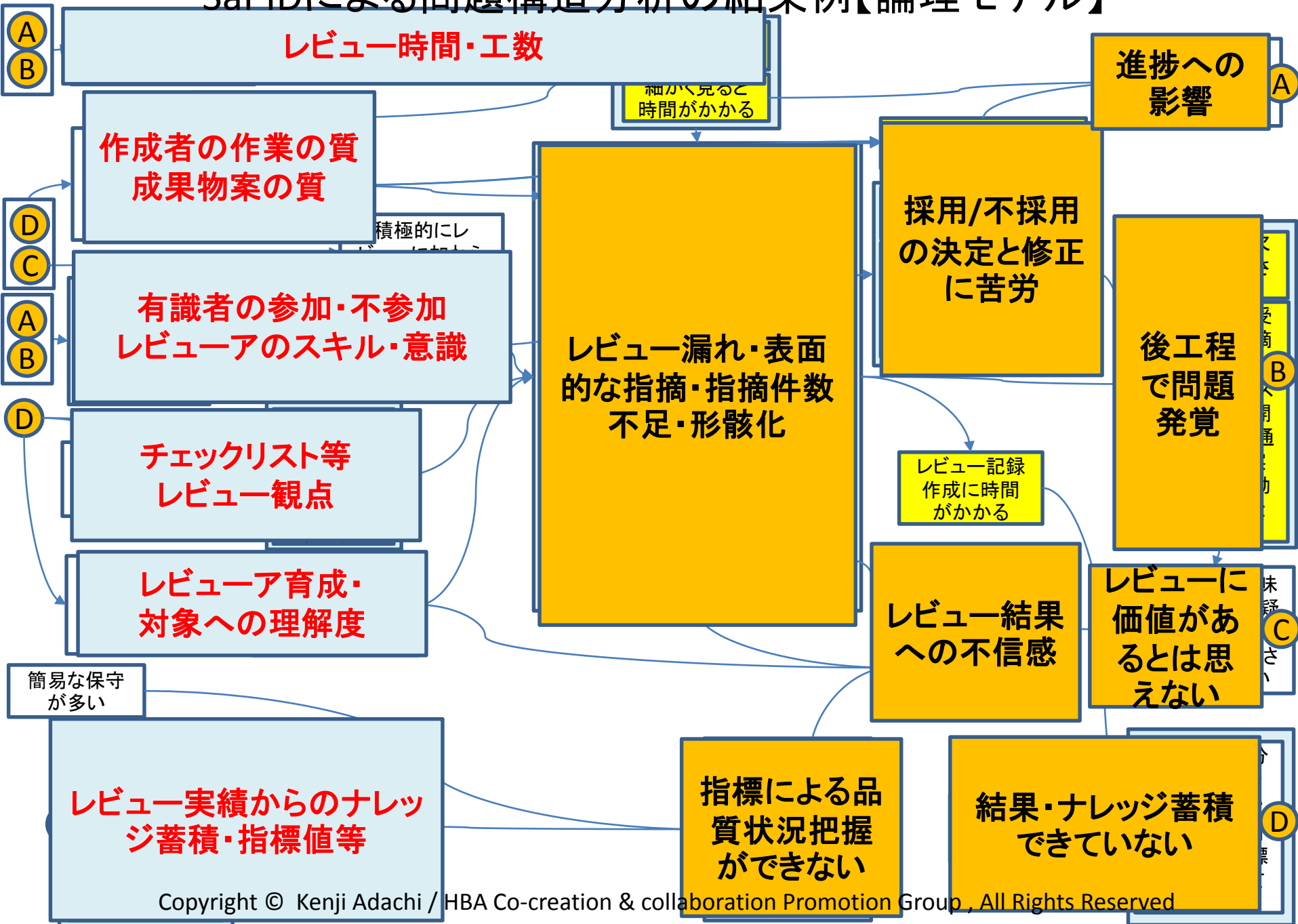
問題はさまざまな要素の相互作用・関係性が引き起こしている、という立場で解決策を見出す。

関係者からさまざまな情報(構成要素)を収集して「問題構造図」に表し、関係者間で共有することで自らの背景や現状に対する適切な解決策を探る。

SaPIDによる問題構造分析の結果例【物理モデル】



SaPIDによる問題構造分析の結果例【論理モデル】



SaPIDは自らの実践そのもの

- SaPIDは私が経験した多くの失敗（と超少ない成功体験w）から学んでいろいろ工夫したこと
の集合体です。
- 基本的なコンセプトに従って自ら実践（実験）
し、その経験と結果に基づいて適宜（SaPID
を）更新しています。→現在Ver3.0
- SaPIDの強みは圧倒的な失敗経験に裏打ちさ
れたノウハウ群です。

MODE 0 ビジネス価値向上～新ビジネス創出実践

STAGE 1 ビジネス価値共有

STAGE 2 ビジネス価値向上

STAGE 3 新ビジネス創出

MODE 5 プロセス改善を含めたリスクマネジメント実践

MODE 4 予防処置実践

MODE 3 是正処置実践

MODE 2 個別改善実践

MODE 1 個別問題発見・解決実践

価値観・行動変容
アプローチ

STAGE 0

運営方針共有
STEP 1 運営方針・問題
定義／見直し
STEP 2 認識共有

STAGE 1

問題発見・共有
STEP 3 個別問題発見
STEP 4 問題表現・共有

STAGE 3

結果共有・ふりかえり
STEP 7 結果共有
STEP 8 ふりかえり

STAGE 2

問題解決・改善
STEP 5 問題解決
STEP 6 改善

STAGE 1

把握

STEP 1

問題洗い出し・引き出し

STEP 2

事実確認・
要素精査

STEP 3

問題分析・
構造化

STAGE 3

改善の
実行

STEP 7

改善計画
立案

STEP 8

改善トライアルと評
価・フィードバック

STEP 9

全体適用と評
価・フィードバック

STAGE 2

改善の
検討

STEP 4

改善ターゲット
の検討・特定

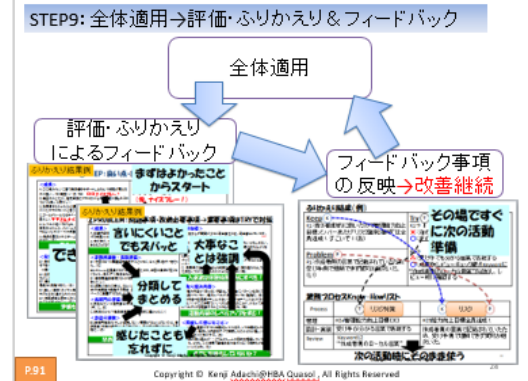
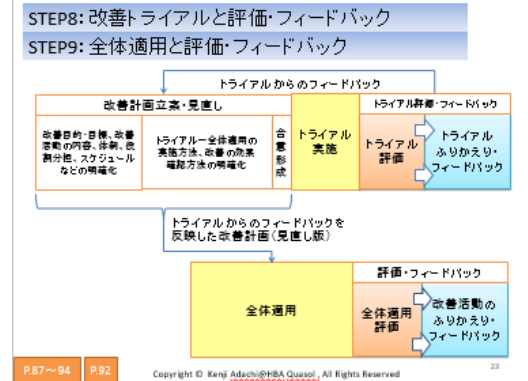
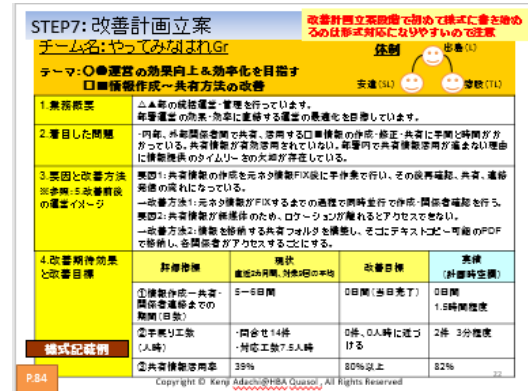
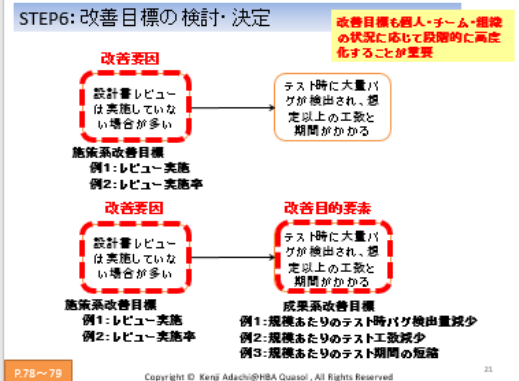
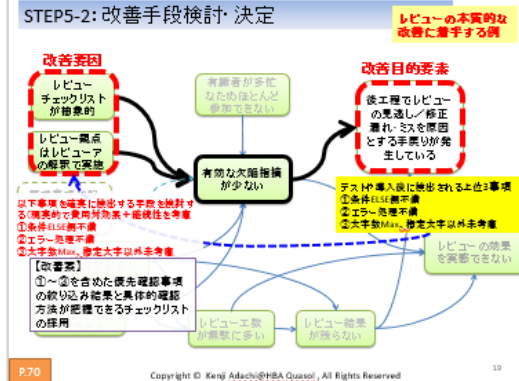
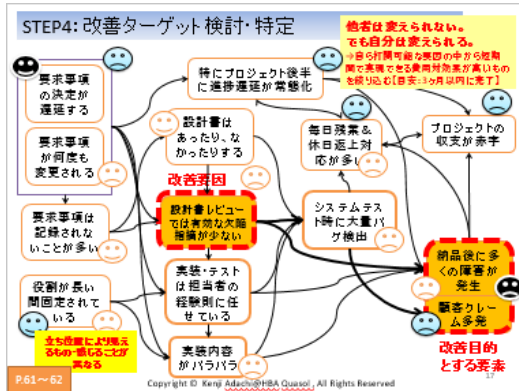
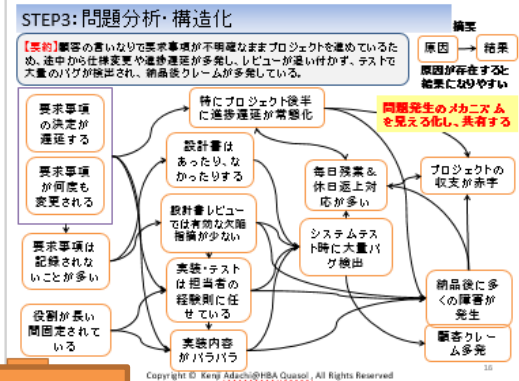
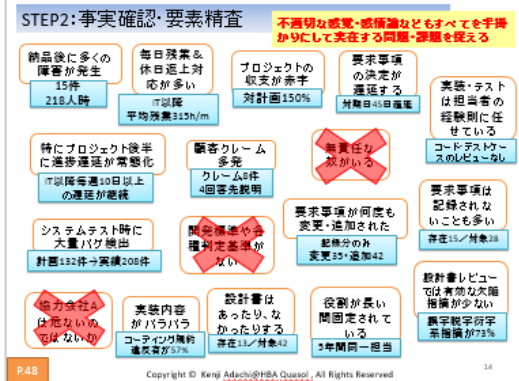
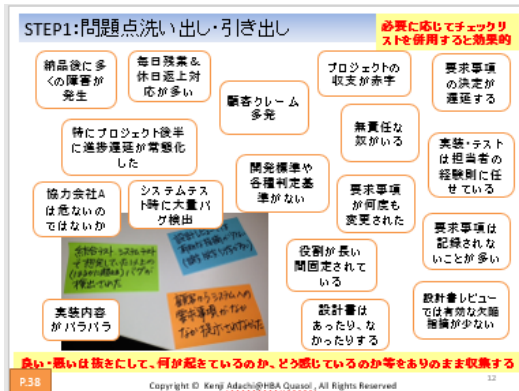
STEP 5

改善策の
検討・決定

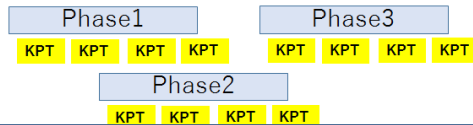
STEP 6

改善目標の
検討・決定

SaPIDのMODE3-STEP詳細



Journaling by retrospectives

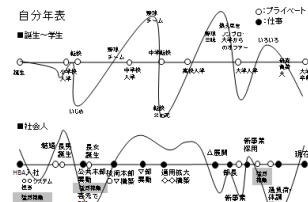


MODE 1 個別問題発見・解決実践



MODE 2 個別改善実践

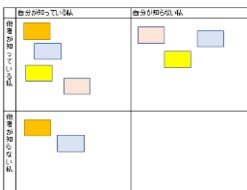
Life Graph



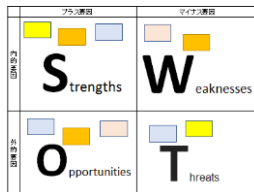
Time management matrix



Johari window

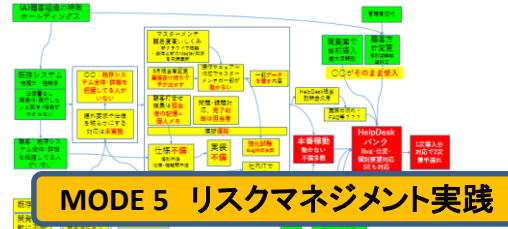


SWOT analysis



価値観・行動変容アプローチ

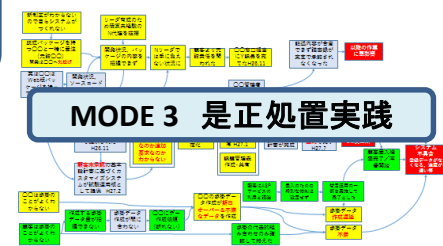
Future Expectation Model



MODE 5 リスクマネジメント実践

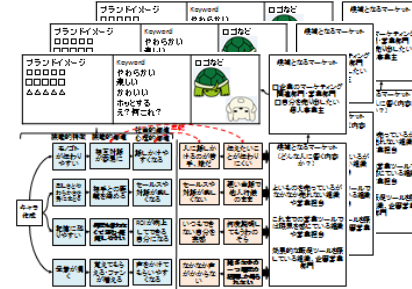
MODE 4 是正・予防処置実践

Trouble Model



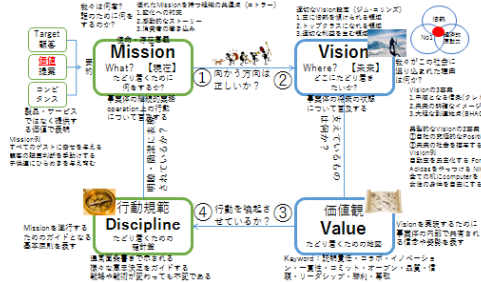
MODE 3 是正処置実践

Self Branding



MODE 0 ビジネス価値向上～新ビジネス創出実践

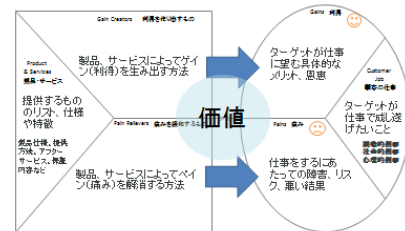
Mission Statement



Business Model Canvas

KP	KA	VP	CR	CS
ビジネスパートナー	必要活動	価値提供	顧客との関係	顧客の利益
□ 戦略	□ マーケティング	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ チャンネル	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ コスト	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ サービス	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ 戦略	□ マーケティング	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ チャンネル	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ コスト	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益
□ サービス	□ 必要活動	□ 価値提供	□ 顧客との関係	□ 顧客の利益

Value Proposition Canvas



<自分を知る>



<自分を活かす>



<自らの使命に従う>

SaPIDってどんな手法？

実践してみた方の共通の感想

説明されるとわかるけど、
自ら実践して答えを出すの
は難しい

回数は、手法の難易度と実践者の
スキルに左右されるので注意

新しい手法は、最初に手をつけて失敗して諦めてしま
う人が多い。新しい手法を身につけるなら、最低3回
「試行→ふりかえり」を重ねる必要がある。

SaPID実践事例・活動紹介

事例 : <https://www.software-quasol.com/sapid3-0/>

技術移転活動 : <https://www.software-quasol.com/sapid-bootcamp/>

マーク・トウェイン

今から20年後、君は「やったこと」よりも「やらなかったかったこと」にずっと後悔することだろう。さあ、もやいを解き放て！ 安全な港から船を出せ！ 探検せよ、夢を抱け、発見せよ！

SaPIDファシリテーター

グランドハイアット チーフコンシェルジュ 阿部 佳

コンシェルジュは相手に向き合うのではなく、お客様に寄り添い、一緒に同じ方向を見て、楽しみを共有するのです。

相手の喜びが自分の喜びになる。これが私の原点です。

SaPIDファシリテーターの役割

- 心理療法士の役割

- 「クライアントが人生の過程を発見的に歩むのを支援すること」、つまり、クライアントが自分の生き立ちや境遇、現状を理解して自ら前に進む答えを出して歩んでいくのを支援すること。

- SaPIDファシリテーターの役割

- 「管理者や技術者が、マネージャーライフ、エンジニア(実務者)ライフを発見的に歩むのを支援すること」、つまり、管理者や技術者が自らの背景や経緯、さまざまな事情や境遇を理解して自ら前に進む答えを出して歩んでいくのを支援すること。

以下を体感・実感する機会・場を形成

- 新しいことに取り組む楽しさ。(マンネリや習慣・執着からの脱却)
- 取り組む過程での気づきと改善への手応え。
- 段階的に上達して自分にもできる！と徐々に自信をつけること。
- 自分が変わると周囲が、状況が、境遇が変わること。(自分の意思で変わる／変えることができる)

SaPIDで何ができるのか？

ヘンリー・ミラー

「目的地」というのは決して場所であるのではなく、物事を新たな視点で捉える方法である。

SaPIDの効果期待できる領域の例

<事業経営>

経営層と中間管理層、実務レベルの意識差が大きく、トップダウンで進めるものの中間層は上の顔色ばかり見る、社員はやらされ感満載で形式対応に終始する。

<プロジェクト管理>

プロジェクト・業務・組織運営に存在するリスクや問題が見えない。突然大きな問題が発生するなど、いつも後手に回っている。

<ビジネスマネジメント>

これまでの慣習で業務を継続しているがマンネリで伸びもなく、実はどうしてよいかわからない。

<プロセス改善>

ISO9001、CMMIなどを適用しているが、社員の当事者意識に欠け、形式対応に終始したり、自然消滅するなど改善効果が得られない。

あるいは関係者の意見が合わず迷走する、声の大きな人の一言で決まるが誰も納得していない、など。

<システム企画～要求定義>

(1)システム企画～開発・導入の過程で、システムの利用者とその管理者、経営者など関係者のニーズや要望がバラバラで折り合わず、要求や仕様変更が多発し、プロジェクトが迷走・頓挫する。
(2)顧客の言うとおりにシステムを構築したらクレームの嵐に。言った通りに作ったのに理不尽だ。

<原因分析・現状分析>

なぜなぜ分析で進めているが、魔女狩り、犯人探し一般論的な再発防止に終始し、分析のたびに誰もやらないチェック項目ばかりが増えていく。

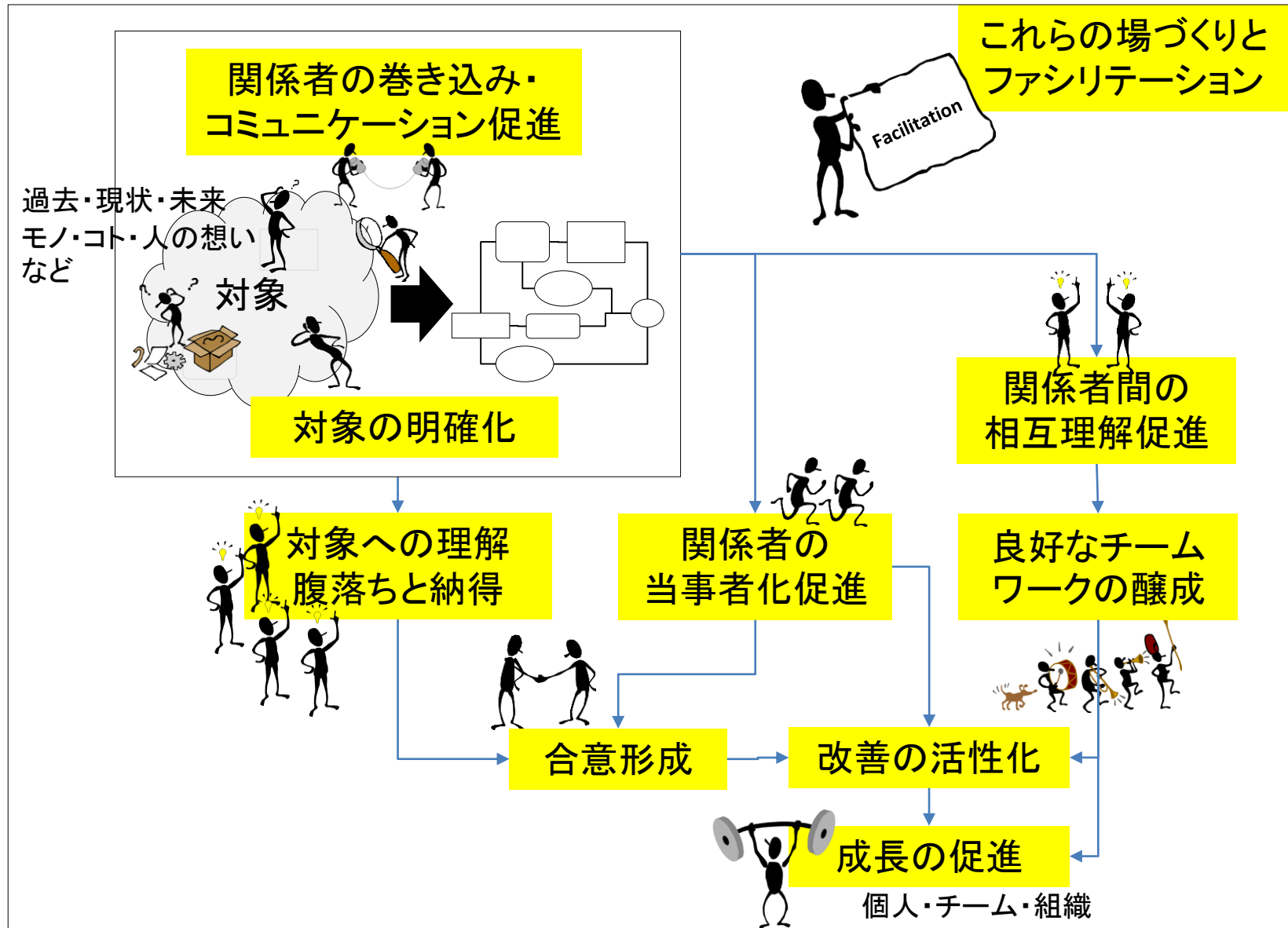
<人材育成>

体系的なカリキュラムに基づき研修を実施しているが、実務はいつもと変わらず、何年経っても人材が育たない。

今日のお題

JaSST'19北陸 事前アンケート結果

SaPIDでできること・やっていること



SaPIDが促進する成長発達段階とスキルレベル

実際の人数分布に基づく整理

成長発達理論に基づく成長発達段階

自己変容・相互発達段階
成人の1%未満

自己主導段階
成人の20%程度

他者依存段階
成人の70%程度

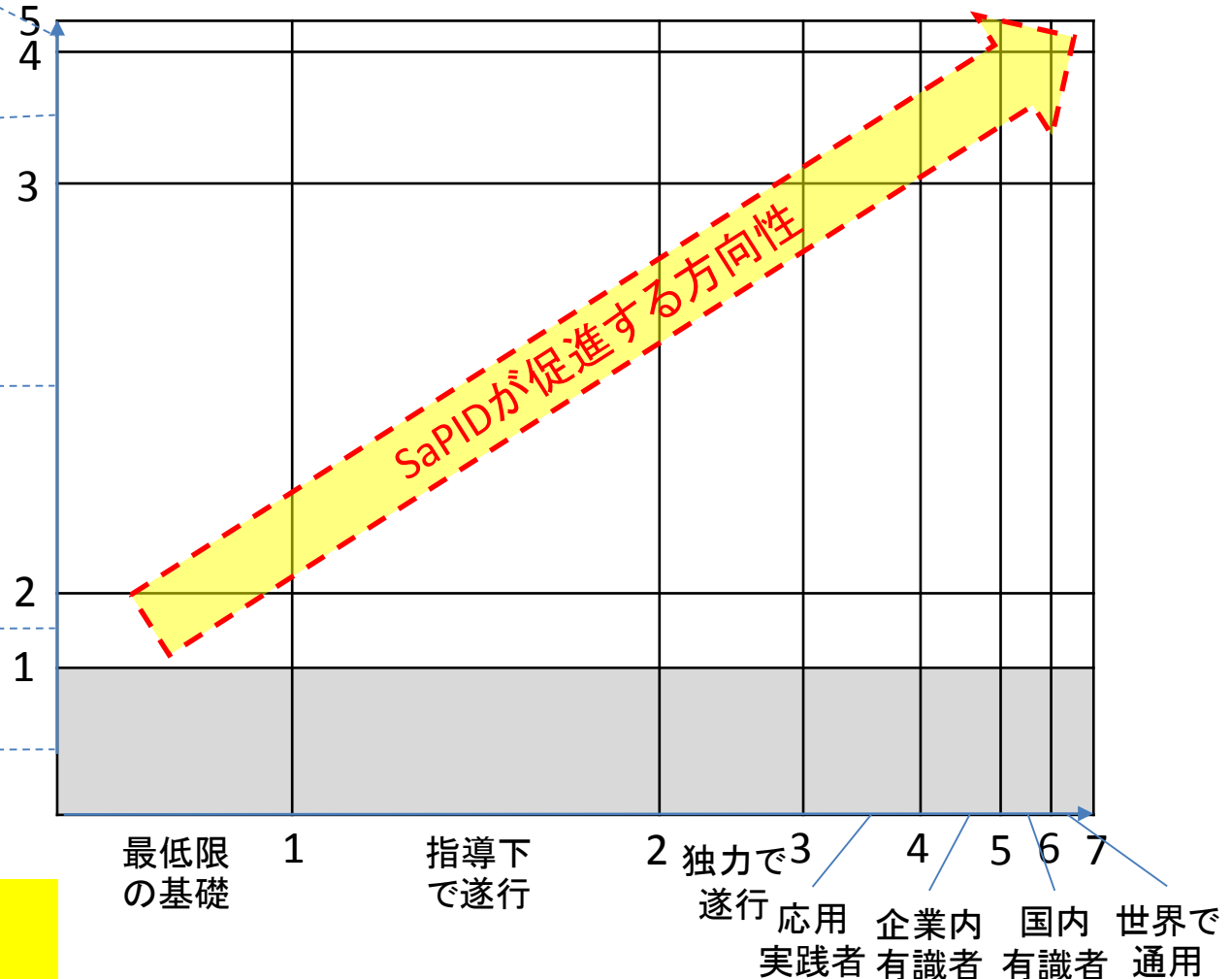
道具主義的段階
成人の10%程度

段階的思考段階
子供

ハーバード大学 ロバートキーガン
教授による成長発達理論 より

★2～3へ、3～4へ上がるために必要な事項

- ・自分中心の視点から一歩離れた視点を持つ
 - ・自分の考えを言語化する
 - ・より上の段階に発達した人とのコミュニケーション
- 効果的な小さなアクションの積み重ねが重要
それを周囲でファシリテーションしていくことが必要



ITSS・ETSS等に基づくスキルレベル(分野毎)

ITスキル標準とは？ <https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itss7.html>

質疑応答とまとめ

シャープ伝説のエンジニア 佐々木 正

「いいかい、君たち。分からなければ聞けばいい。持っていないなら借りればいい。逆に聞かれたら教えるべきだし、持っているものは与えるべきだ。人間、一人ですることなどたかが知れている。技術の世界はみんなで共に創る『共創』が肝心だ」

SaPID関連ワークショップ開催予定

SaPID Bootcamp2019.5

5月25日(土)～26日(日) マホロバ・マインズ三浦

<https://www.software-quasol.com/sapid-bootcamp/>



イベントや関連活動等は以下のサイトで随時公開！

【Website】

Software Quasol (Software Quality Solution Service)

<https://www.software-quasol.com/>



【Facebook】 いいね！で連絡が自動的に流れます

Software Quasol (Software Quality Solution Service)

<https://www.facebook.com/softwarequasol/>



ご参加ありがとうございました！

もしよかったら
SaPIDを実践してみてください。

当資料の内容に対するお問い合わせはこちらです。
お気軽にどうぞ！

株式会社HBA 共創推進グループ

安達 賢二(あだち けんじ)

(011)231-8301 adachi@hba.co.jp

<https://www.software-quasol.com/>

受講結果を評価し、提出してください

評価結果はサイト掲載の予定です(お名前は非公開)

- ①お名前:
- ②理解度: ○○○点／100点
- ③有効性: ○○○点／100点
- ④満足度: ○○○点／100点
- ⑤受講後の素直な感想:
- ⑥ご要望(もしあれば):

quality-sol@hba.co.jp 宛てにお送りください。